

2018 年度

東京音楽大学・神戸女学院大学

ミュージック・コミュニケーション講座

<http://www.music-communication.com>

即興音楽ワークショップの実践と、音楽家にとっての意味

～「音楽」以前の「音」に気づく～



2018年 4月27日 (金)

14:10～15:40 / A館地下100教室

履修者以外の方も聴講できます！

東京音楽大学より神戸女学院大学へ同時発信

鈴木 潤 (ピアニスト・作曲家)

京都大学卒業後、プロのピアニスト、キーボーディストとして、数多くのジャマイカンシンガーや国内シンガー、バンドの演奏サポートやレコーディングをつとめ、国内国外で演奏活動や、NHK 教育テレビへの出演や編曲、フランスのアコーディオンフェスティバル出演等幅広く活動。2010年頃からソロの演奏活動や、オーケストラ、人形劇、映像、朗読などのための作曲活動始める。

自身の演奏家・作曲家としての活動と並行して2000年ごろから音楽ワークショップを始める。音楽家が参加者に何か準備したものを提示したり啓蒙したりするタイプのワークショップと異なる、独特な「放置型即興」（「音の砂場」「音の運動会」）のワークショップの経験が長い。

全国の保育園、幼稚園、小学校、特別支援学級、病院内の特別支援学校、特別養護老人ホームなどでワークショップの実践を続けるとともに、鳥取大学ワークショップデザイナー講座講師、東京文化会館ワークショップ・リーダートレーニング講師、日本センチュリーオーケストラの老人ホームでのアウトリーチアドバイザー、京都大学発達教育学部児童学科非常勤講師などとして、ワークショップに関するいろいろな実践的講座を行なっている。

「ミュージック・コミュニケーション講座」とは？

本講座は、将来、演奏家に限らず、どんな進路に進んでも、音楽大学で培ったものを活かす能力が身に付く、実践的な講座です。各界で活躍する講師を招き、社会で活躍するために必要なコミュニケーション力、社会性、リーダーシップ、そして柔軟な発想力などを磨きます。授業はインターネット・ビデオ会議システムにより2大学をリアルタイムで結び、各大学の学生が同時に同じ授業を受講します。単に授業を受けるのではなく、特別講師の先生方や他大学の学生との質疑応答やディスカッション、時には体を動かすワークショップなどを行い、「コミュニケーション」について実践的に学んでいきます。